

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2001-103331 (P2001-103331A)
 【公開日】平成 13 年 4 月 13 日 (2001.4.13)
 【出願番号】特願 2000-211831 (P2000-211831)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/60 (2006.01)
G 0 6 T 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 1/41 (2006.01)
H 0 4 N 9/00 (2006.01)
H 0 4 N 9/64 (2006.01)
H 0 4 N 1/46 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 D
 G 0 6 T 1/00 5 1 0
 H 0 4 N 1/41 B
 H 0 4 N 9/00 A
 H 0 4 N 9/64 Z
 H 0 4 N 1/46 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】処理方法及び処理装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 供給元装置のカラープロファイルを有する供給元装置から供給元装置の色空間で提供されるカラー画像データを管理する処理方法であって、
 前記供給元装置のカラープロファイルをアクセスするステップと、
 前記供給元装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記供給元装置の色空間から、装置及び観察条件から独立した色空間へ変換することにより、装置に依存しないカラー画像データを作成するステップと、
 前記装置に依存しないカラー画像データを圧縮するステップとを有することを特徴とする処理方法。

【請求項 2】 前記装置に依存しないカラー画像データから画像特有の色域境界記述を取り出すステップを更に有することを特徴とする請求項 1 記載の処理方法。

【請求項 3】 前記取り出すステップは、前記装置に依存しないカラー画像データを圧縮する前に行われることを特徴とする請求項 2 記載の処理方法。

【請求項 4】 前記画像特有の色域境界記述を、前記圧縮された前記装置に依存しないカラー画像データと共にデータファイルに格納するステップを更に有することを特徴と

する請求項２記載の処理方法。

【請求項５】 宛先装置のカラープロファイルを有し、宛先装置の色空間を利用する宛先装置へ出力するために、装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供されるカラー画像データを管理する処理方法であって、

前記装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供される前記カラー画像データをアクセスするステップと、

前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間で、伸張されたフォーマットに伸張するステップと、

前記宛先装置のカラープロファイルをアクセスするステップと、

前記宛先装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間から前記宛先装置の色空間へ変換することにより、前記宛先装置で出力する宛先装置に從属のカラー画像データを作成するステップとを有することを特徴とする処理方法。

【請求項６】 供給元装置のカラープロファイルを有する供給元装置から供給元装置の色空間で提供されるカラー画像データを管理する処理装置であって、

前記供給元装置のカラープロファイルをアクセスする手段と、

前記供給元装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記供給元装置の色空間から、装置及び観察条件から独立した色空間へ変換することにより、装置に依存しないカラー画像データを作成する手段と、

前記装置に依存しないカラー画像データを圧縮する手段とを有することを特徴とする処理装置。

【請求項７】 宛先装置のカラープロファイルを有し、宛先装置の色空間を利用する宛先装置へ出力するために、装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供されるカラー画像データを管理する処理装置であって、

前記装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供される前記カラー画像データをアクセスする手段と、

前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間で、伸張されたフォーマットに伸張する手段と、

前記宛先装置のカラープロファイルをアクセスする手段と、

前記宛先装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間から前記宛先装置の色空間へ変換することにより、前記宛先装置で出力する宛先装置に從属のカラー画像データを作成する手段とを有することを特徴とする処理装置。

【請求項８】 請求項１又は５に記載の処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

【課題を解決するための手段】

本発明は、供給元装置のカラープロファイルを有する供給元装置から供給元装置の色空間で提供されるカラー画像データを管理する処理方法であって、前記供給元装置のカラープロファイルをアクセスするステップと、前記供給元装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記供給元装置の色空間から、装置及び観察条件から独立した色空間へ変換することにより、装置に依存しないカラー画像データを作成するステップと、前記装置に依存しないカラー画像データを圧縮するステップとを有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明は、宛先装置のカラープロファイルを有し、宛先装置の色空間を利用する宛先装置へ出力するために、装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供されるカラー画像データを管理する処理方法であって、前記装置及び観察条件から独立した色空間の圧縮フォーマットで提供される前記カラー画像データをアクセスするステップと、前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間で、伸張されたフォーマットに伸張するステップと、前記宛先装置のカラープロファイルをアクセスするステップと、前記宛先装置のカラープロファイルを使用して、前記カラー画像データを前記装置及び観察条件から独立した色空間から前記宛先装置の色空間へ変換することにより、前記宛先装置で出力する宛先装置に從属のカラー画像データを作成するステップとを有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】